

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 3 月 5 日 (2009.3.5)

【公開番号】特開 2007-192518 (P2007-192518A)
 【公開日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-029
 【出願番号】特願 2006-13393 (P2006-13393)
 【国際特許分類】

F 2 4 C 7/02 (2006.01)

F 2 4 C 15/00 (2006.01)

F 2 4 C 7/04 (2006.01)

【F I】

F 2 4 C 7/02 5 1 1 M

F 2 4 C 7/02 3 2 0 M

F 2 4 C 15/00 H

F 2 4 C 7/02 3 5 5 K

F 2 4 C 7/02 3 0 1 K

F 2 4 C 7/04 3 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 1 月 21 日 (2009.1.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被加熱物を収納する加熱室と、前記被加熱物を載置する電波発熱体が付設された調理皿と、前記調理皿を載置する皿受け棚と、物体の温度を検出する温度検出手段と、前記被加熱物および調理皿を加熱する加熱手段と、前記温度検出手段で検出した複数の温度検出点での温度または温度変化から前記調理皿の有無を判断する制御手段とを備えた高周波加熱装置。

【請求項 2】

温度検出手段は調理皿に置いた被加熱物の温度を検出する構成とするとともに、制御手段は前記温度検出手段の出力に基づいて被加熱物の加熱パターンまたは / および加熱時間をも制御する構成とした請求項 1 に記載の高周波加熱装置。

【請求項 3】

制御手段は、温度検出手段により検出した複数の温度から所定の条件で選別した複数の温度によって調理皿の有無を判断することを特徴とした請求項 1 または 2 に記載の高周波加熱装置。

【請求項 4】

検出した温度から複数の温度を選別する所定の条件は、複数あることを特徴とした請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の高周波加熱装置。

【請求項 5】

制御手段は、温度検出手段により検出した複数の温度から所定の条件で選別し、その温度が所定の温度以下の場合には調理皿が無いと判断して加熱を止めることを特徴とした請求項 1 ~ 4 に記載の高周波加熱装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】